

- 平成20年4月1日発行
- 編集発行：宮崎県美郷町
- 宮崎県東臼杵郡美郷町  
西郷区田代1番地
- TEL 0982-66-3601
- FAX 0982-66-3137
- ホームページ  
<http://www.town.miyazaki-misato.lg.jp/>

# 美郷 広報



## 「火伏せ地蔵」に2万3千人が参拝

2月29日から3月2日までの3日間、「宇納間地蔵尊大祭」が行われました。当日は商店街付近が歩行者天国となり、物産販売やイベントなどが行われ、県内外より2万3千人の参拝者で賑わいました。（詳細は2・3ページ）



# 宇納間地蔵尊大祭

2月29日から3月2日にかけて「宇納間地蔵尊大祭」が開催されました。

この宇納間地蔵尊は火災を鎮める「火伏せ地蔵」として、県内外でも有名で、3日間でおおよそ2万3千人の参拝者で賑わいました。

全長寺周辺の商店街には約100店の露店が軒を連ねた他、美郷町の地場産品なども販売され、好評を博していました。



ご寄附のお礼  
全長寺様より美郷町の振興にと金一封をご寄附いただきました。  
ありがとうございます。



列をなし鐘をつく参拝者

日々の安全を願い、365段の階段を登ります

## 大祭イベントエイサーの演舞に魅了

3月2日には北郷商工会青年部山本英次部長 会員6名(主催のイベントも実施されました)。

はじめは、火伏せちんどん5人衆によるちんどんが行われ、多彩な衣装とユーモアたっぷりの仕草で商店街を練り歩き、お客さんも楽しそうに見ていました。

また、その後は、路上でエイサーの演舞が行われ、沖縄国際大学のエイサーグループ、鼓衆シンカ、北郷区青年団エイサー部、エイサーグループ絆の3グループが披露、「民謡」や「ミルクムナリ」など計5曲を披露し、勇壮



大勢の観客を魅了したエイサー

な演舞を一目見ようと集まった500人の観客は沖縄の華麗な舞踊に見入っていました。

また、商工会前の会場ではもちまきや振る舞いなども行われ、参拝に訪れたお客さんも楽しんでいました。



本場沖縄のエイサー



火伏せちんどん5人衆

## 宇納間地蔵尊大祭でボランティア

「宇納間地蔵尊大祭」が開催されるにあたり、2月17日に北郷商工会所女性部・河内喜美子部長 会員20名(の会員12名が清掃ボランティアを行いました)。

当日は国道388号を朝9時から西郷区和田地区より宇納間地蔵尊の参道入口までの6キロほどを2時間かけて、ゴミ拾いを行いました。中にはオムツなどの家庭用



商工会女性部のみなさん

周辺のゴミ拾いを行いました。会員らは約1時間かけて、国道沿いの溝や植え込みの中から丁寧に取り除き、タバコの吸殻や空き缶など拾い上げました。青年団では毎年の清掃ボランティアを行っており、梅田会長は祭りの後でも、北郷を訪れた人がきれいな町だと思ってもらえるといいですね。」と話していました。

ゴミなどもあり、4トントラックいっぱいゴミが集められました。参加した会員は、大祭前にきれいになって自分も気持ちがいい。お客さんに楽しんで帰ってもらいたい。」と話していました。

また、大祭終了の次の日には北郷区青年団連絡協議会(梅田祐助会長 会員30名)の会員10名が全長寺や役場

## 炭焼きの郷宇納間地蔵体験ツアー

宇納間地蔵尊大祭にあわせて、北郷の歴史や農林業などを体験する、炭焼きの郷宇納間地蔵体験ツアーが美郷町観光協会北郷支部(岡田憲幸支部長)の主催で3月1日、2日に行われました。

当日は東京都や鹿児島市、宮崎市などから21名が参加し、炭細工体験や炭窯見学、北郷区特産スイートピーの摘み取り体験などを行いました。炭細工体験では宇納間備長炭の特性を活かした風鈴づくりを20分ほど行い、その後は泥染め体験やパン作りなどに挑戦しました。また、宇納間備長炭の炭窯見学では川上隆雄さん所有の炭窯を見学し、説明を受け、大変な仕事ですね。こんな苦労を経てよい炭ができるんですね。」と感心していました。



炭窯見学

り体験作業を1時間ほど行い、参加者は丁寧にスイートピーを摘み取っていました。2日目は宇納間地蔵尊大祭を見学、歴史探訪を行い、参拝しました。今回のツアーで参加者からは、「スイートピーの素晴らしい管理にびっくりしました。」炭作りも大変な作業だとはじめて知りました。」との感想が聞かれ、北郷の自然や農林業を満喫していました。



昼食のパン作り



スイートピー摘み取り



# 平成20年度施政方針

平成20年3月7日に招集された美郷町議会定例会において、平成20年度の各会計予算が上程されるに当たって、町長から平成20年度の施政方針が示されましたので、ご紹介いたします。



本日、ここに平成20年美郷町議会第1回定例会を招集いたしました。平成20年度美郷町一般会計予算案並びに各特別会計予算案及び各関連議案の審議をお願いするに当たり、私の所信の一端を申し述べ、議員各位をはじめ7千町民の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

継続事業となっていた大規模災害復旧作業も被災された町民の皆様の御理解と御協力のもと、着実に進められ、町民生活に落ち着きが戻りつつあることを喜ばしく思っています。今後とも、一日も早い完全な復旧に向けて全力を尽くすとともに、防災体制の充実を、今以上に図る所存であります。

2年2か月を過ぎた。この間、初代町長として、積極的に町民との対話を重ね、協力を図りながら、新生「美郷町」の発展に向けて職員一丸となつて日夜邁進して参りました。その結果、将来を展望する町政運営の基礎がある程度出来あがったものと認識しております。引き続き、3区の特徴ある地域資源を最大限に活かしながら、町民の皆さんが自信と誇りを持ち、生き生きと暮らすことのできる美郷町づくりに向けて町政運営を行うつもりです。

この様な状況下、平成20年度国の予算は、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2006」(平成18年7月7日閣議決定)及び「経済財政改革の基本方針2007」(平成19年6月19日閣議決定)以下、「基本方針2007」といふ。これらを通じて、地方財政計画の規模抑制に努め、財源不足額の圧縮を図る一方で、国と地方の信頼関係を維持しながら、着実な歳入・歳入一体改革の展開、安定的な町政運営に必要な地方税、地方交付税等の一般財源の総額を確保することを基本として地方財政対策を講ずることとしています。

住宅建設の減少、石油製品等の上昇、サブプライム住宅ローン問題を背景とする金融資本市場の変動や原油価格の高騰等、国に与える影響に注視する必要があります。また、新規国債発行額と債務残高を見ると、平成20年度も25兆3千億円程度の発行額が予定され、債務残高も平成20年度末で553兆円(平成19年度末547兆円)が見込まれています。総合的に分析すると公債への依存度(平成19年度30・7%、平成20年度30・5%)は着実に低下していますが、依然として厳しい国家財政事情に変わりありません。

全力を傾注する所存です。しかしながら、県にも財政状況の厳しさに変わりなく地方歳入の抑制が続いています。また、税源移譲と国庫及び県負担金の乖離は大きく、地方交付税も平成15年度以来となる対前年度比の増加が見込まれていますが、大幅な増額とまではいかず、困難な予算編成を強いられるところで

や合併交付金につきましても、その事業の効果を慎重に検討しながら将来に禍根を残さない事業への貴重な財源として運用する方針であります。歳出面では、町総合計画に盛り込まれた新しいまち建設計画の趣旨を十分に尊重し、3区の地域資源と特色と均衡ある発展を図るために、行政効率化による財源確保に努めて参りました。このことから

【土木建設政策について】  
地域の「基本的な社会資本」である道路等、交通網の整備につきましても、住民生活に密着した必要不可欠な課題であります。国道については、国・県道につきましても、何と言いましても、本町を南北に貫く「国道388号」の改良整備が、最重要課題であることは、今更、申し上げるまでもございませぬ。県北の沿海部と本町、本町相互の移動時間の短縮は元より、広く産業・文化・観光振興を図る上からも、早期の整備が求められております。特に、西郷区と南郷区の区間整備につきま

方「自立と再生」及び「国民が安全で安心して暮らせる社会の実現」を施策の柱とし、地方に対して「地方の自立と再生」を示しています。特に、地方財政対策については、地方税収入や地方交付税の原資となる国税収入の伸びの鈍化、社会保障関係経費の自然増、公債費が高い水準で推移すること等により、依然として大幅な財源不足が見込まれることから、「基本方針2006」や「基本方針2007」に基づき、国の歳出予算と歩みを一にして定員の純減や給与構造改革等による給与関係経費や地方単独事業費の抑制を図り、これらを通じて、地方財政計画の規模抑制に努め、財源不足額の圧縮を図る一方で、国と地方の信頼関係を維持しながら、着実な歳入・歳入一体改革の展開、安定的な町政運営に必要な地方税、地方交付税等の一般財源の総額を確保することを基本として地方財政対策を講ずることとしています。

## 住民との対話と協調による町政運営と町づくり

このよつな国の情勢を鑑みますと地方の「自立と再生」は必要不可欠であり、合併後3年目となる美郷町としても自治体としての真価が問われる年となることは申すまでもありません。「活力に充ち、思いやりと優しさに包まれ、次世代の人々に夢と希望を与える美郷町づくり」を目指す上での私の政治信条は「住民の対話と協調による町政運営」であり、これまでも誠実に実践してきましたし、今後も変わらぬ思いで町政運営を行う所存です。

このことから平成20年度美郷町予算編成にあたっては、町総合計画や過疎計画等の着実な実行と、町民の行政ニーズに積極的に対応することを念頭に、当面する行政課題を緊急性、効果及び均衡等の視点から精査し、特に行政の効率化による財源確保に努めながら、重点的、効果的な配分を行うことを基本方針として編成作業を行ったところです。

中でも、特に町を縦断する国道388号の整備は町民の一体感醸成を図る上においても最重要課題であることから

（以下、テーマ毎の施策の概要については、次のとおりです。）

交通網の整備



交通網の整備



納間・日之影線」・「西都・南郷線」につきまして、関係する期成同盟会の活動とともに、町独自の活動を行って参ります。

#### 町道について

町道につきましては、地域に密着した生活道路や、広域道路網の整備を図るため、制度事業を基本に、整備を進めて行くこととしております。具体的には、地方道路整備臨時交付金事業で、本村・吾味線等の4路線を、道整備交付金事業で、小八重・清水岳線等の2路線を、過疎対策事業では、谷久・山ノ木浦線等の2路線の整備を予定しております。

#### 農林業の生産基盤の整備計画について

農地・農業用施設整備では、県営中山間地域総合整備事業や県単土地改良事業などの制度事業により、生産性の向上や、用水量不足の解消を図るための用水路整備などを予定しております。

併せて、林道整備につきましては、低コスト林業の確立や、路網の充実を図ることを主な目的に、県営事業で開設4路線、舗装1路線のほか、町の

事業としまして、森林環境保全整備事業、道整備交付金事業、里山エリア再生交付金事業の国庫補助を受けて、開設6路線、舗装2路線を計画しております。

このほか、県単の農地整備の一部と林道整備につきまして、補助事業としての採択が流動的なものにつきましては、当初予算に計上することを控え、補助採択が確定となった段階で、補正予算を編成して実施することとしております。

災害及び防災対策については、災害復旧事業は、平成19年までの過半数発生分は、繰り越しと平成20年度発注計画をもって、全てを発注し、本年度中の完了を予定しております。

次に、防災関係では、町民が安心で安全な生活を営めるよう、砂防事業、急傾斜地崩壊対策事業、治山事業など、国の制度事業を積極的に導入して、対策を講じて参ります。また、制度事業の採択要件を満たすことが出来ない箇所につきましては、町が事業費の一部を支援し、安全・安心を補完して参ります。

#### 生産者団体の支援について

これまで、部会員の人数を要件に補助金を交付して参りましたが、将来は、町や地域の産業振興に努力している部会を重点に、活動支援へシフトさせたいと考えておまして、本年度は、部会毎の実態を把握した上で、平成21年度以降の部会に対する支援の在り方を検討したいと考えております。

#### 林業について

林業、特に素材生産に関しましては、国産材時代は近いと言われながら、厳しい状況が続いております。

しかし、素材供給側にある我々としては、町が定めた「森林整備計画」に基づいた施策を推進するため、長伐期施業への移行と併せて、適期の除間伐を指導するとともに、町単独の高上げ補助を行って参ります。

なお、素材生産のみ

では、森林・林業の発展は図れませんので、素材生産・加工・流通までのシステムを構築する必要があります。耳川広域森林組合を中心とした耳川木材加工団地が一丸となつて、販売戦略を講ずるべきであります。以上の観点から、団地・森林組合と流域行政が連携して、森林・林業の発展に取り組んで参ります。

更に、話題になつてくる「中国木材」の進出構想につきましては、大規模伐採による山林の荒廃防止の具体策を



#### 町営住宅について

現在、公営及び町営、併せて239戸を管理しております。現在、空家は23戸前後であります。政策的な空屋がございますので、実質的には92%の入居率であります。引き続き、最善の管理に努めて参ります。

#### 入札制度改革について

公共工事の入札制度の見直しにつきましては、公正な入札の執行を徹底するとともに、適正な品質を確保することにより発注者としての責任を果たすため、最低制限価格の引き上げ、総合評価落札方式の試行等を行うこととしております。

#### 【産業振興政策について】

本町の基幹産業である農業及び林業につきましての基本的な政策方針を申し上げます。

#### 農業について

このことにつきましては、昨年の議会で振興すべき品目として公表致しました、きんかん、ミニトマト、生姜、しきみ、茶、和牛及びキウウリの7品目を中

求めながら、流域自治体などと協議を進めて行きたいと考えております。

#### 特用林産物について

最初に、椎茸生産でございますが、生産者の高齢化が進んでおりますが、新規参入や再チャレンジも僅かですが、見られるようであります。高齢者の生産継続を促す上からも、原木供給や生産設備の導入・改善への支援を継続して参ります。

木炭につきましては、新規参入希望者が出て来ておりますので、製炭窯建設の助成を予定しているものであります。

また、原木確保につきまして、生産者や森林所有者と、検討すべき時期に来ていると考えますので、植菌計画と原木の計画的な伐採についても、関係者とともに指導を行って参ります。

以上、農林業の振興方針を述べましたが、いずれの場合も、農家や林家が計画性を高め、実行に移していくというプロセスが最も重要であります。

従いまして、個人や法人が、新規又は規模拡大を検討し、経営戦略を練る中において、必要な資金を有利な条件で活用できるように指導・誘導し、その

心に、生産規模の拡大や、品質の向上を進めて参ります。

私は、美郷町発足から今日までに、きんかんの糖度や大きさが、センサーで選別できる機械の導入支援、ミニトマトハウスの省工

ネルギー対策、茶の摘採機導入支援や防霜対策、みやざき地頭鶏の種鶏場や処理加工施設の建設などのハード面につきましては、日向農協や農家と連携して整備を進めて参りました。

本年度は、国の「農



きんかん光センサー選果機

山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業」を日向市、門川町及び日向農協と連携して、広域的な計画を策定し、リース方式による施設野菜団地を町内に建設する計画であります。

#### 畜産業について

和牛の振興につきまして、国の「牛舎リース事業」と町単独の助成事業により、規模拡大を支援して参ります。また、10頭以上の飼育農家につきましては、家畜排せつ物処理施設

リース料や利子分を補給支援していくことを基本に、J A や森林組合、県の関係事務所と協調・連携して振興施策を推進したいと考えております。

#### 【福祉保健行政について】

少子・高齢社会への対応と健康づくりの充実を目指します。

#### 少子化対策について

少子化問題は、国全体の重要課題であります。産業構造や就労形態、過疎化の進展に連動しているとともに、個人の生活や価値観などに根ざしている部分が多く、抜本的解決が困難な課題の一つであります。従って町行政としては、従来に引き続き子育て支援を目的とする児童福祉施策を充実し、乳幼児を持つ家庭を地域全体で支援する体制整備が最も必要と考えています。

新年度においては、町単の上乗せ助成を行うことで県内の他市町村より優遇的な施策である「乳幼児医療費助成事業」や出産祝金支給事業等を継続して実施するとともに、将来の

の設置が義務づけられたことを受け、引き続き、設置の指導と費用の支援を予定しており、補助採択が決定次第、補正予算を編成して対応することとしております。

これらのほか、ソフト面では、各作物の拡大に対する支援、農家の経営・運転資金への利子補給補助を行うなどとして、規模の拡大や経営支援を行って参ります。

また、夏休み期間中の小学校低学年児の受け入れ先として「学童保育」を実施してきました。この事業は、特に母子家庭や両親稼働世帯では安心して仕事に行けますし、子供も長期休暇を有意義に過ごせるなど、まさに大きな子育て支援であり、保護者から大変好評であります。平成19年度には、従来から実施しております西郷区に加え、北郷区でも新規に開始いたしました。また南郷区では従来民間で実施されてきましたが、新年度からは事情により継続できなくなったとのことでありますので、行政支援により保護者の要望にお応えしていきたいと考えております。

高齢化対策と健康施策について 本町の高齢化率も平成19年10月1日現在で42.3%となつており、今後ますます高齢者福祉の充実が町の重要課題となっております。在宅で元気に過ごせるのが本人や家族にとって幸せなことでありますので、行政としてはそ



れを支援していくべく、配食サービスや生き生きサロン事業などの各種事業を適宜見直しながら、高齢者の実態に即した事業の展開を図ってまいります。また、高齢化の進展もあり高血圧、糖尿病、高脂血症等の生活習慣病は、いままや国民病と言われるほど増加しており、医療費に占める割合も高くなっております。主な原因として、内臓脂肪型肥満、いわゆるメタボリックシンドロームがあげられますが、これの予防としては内臓脂肪を減らすこと、要するに適正体重を維持していくことが重要となります。新年度からはメタボリックシンドロームに着目した特定健診が始まりますので、受診率向上を図り、早期に保健指導を行うことにより予防を一層徹底していきたいと考えます。

つた」とか「食事や運動を見直した」との声が多数寄せられております。また事業に参加した方の半数にB.M.I値の改善が認められ、町民の健康意識の醸成という当初の目的は十分達成できたのではないかと考えます。新年度も引き続きこの事業を実施し、町民への健康啓発を更に進めていく考えであります。

設にあつては、適宜衛生管理についての指導を行うとともに、施設の改善等について地元の相談に応じていくこととします。

望ましい自信や将来に対する夢や希望の育成  
一貫と連携・融合の教育推進



町立小学校

環境衛生施策について  
西郷区の美化センターにつきましては、平成20年1月から「ごみ収集業務」を民間委託しましたが、これにより3区とも民間委託になり、統一が図られました。今後は、収集業務がスムーズにいくよう業者への指導を徹底してまいりたいと考えます。

また、簡易水道事業についてありますが、安心・安定した飲料水供給には、施設の適切な維持管理が必要であります。法に基づき点検・管理業務をしっかりと行うとともに、老朽化した施設については計画的に施設整備を行うことも検討を進めてまいりたいと考えております。簡易水道法に該当しない飲料水供給施設などの水道施設

【次代を担う人材を育てる教育振興の施策について】  
本町の教育全般の振興を図るため、教育基本法の理念及び県教育基本方針を踏まえ、人間尊重の精神を基本とし、一人ひとりが豊かな人間性を培い、変動する社会に創意工夫と生きがいをもって対応できるよう、新年度においても「次代を担う人材の育成」と「生きがいに満ちた心豊かな町民生活」の実現をめざして、引き続き次の施策を重点に置き推進してまいります。

その結果、南郷区においては、「小中一貫教育の機能を十分生かす」の新しい小学校舎建設による、施設一体型小中一貫教育校の開校実現に向け取り組むよう」との意見書が、諮問機関である「小中一貫基本構想検討委員会」

より提出されました。今後は、この意見書を尊重し、学校設置箇所・現施設の跡地利用・通学方法など、地域等との協議を通し、諸条件の整備を進め、更に財政状況に配慮しながら、可能な限り早期の実現に向けて取り組んでまいります。

平成19年度は新しい町民健康運動として「メタボリック大作戦」を実施いたしました。3月間延べ1,108世帯、816名の方に参加していただきましたが、これは全世帯の14.2%になります。

参加者からは「この事業がきっかけになって家庭内で健康づくりに高い関心を持つようになった」とか「食事や運動を見直した」との声が多数寄せられております。

基礎的・基本的な力や態度の育成の徹底  
学校の推進について  
県教育委員会が策定した「宮崎の教育創造プラン」の重点事項である

「小中一貫教育の機能を十分生かす」の新しい小学校舎建設による、施設一体型小中一貫教育校の開校実現に向け取り組むよう」との意見書が、諮問機関である「小中一貫基本構想検討委員会」

また、西郷区と北郷区につきましても、PTAや区民の皆様が理解が得られるよう今後も引き続き説明会を実施してまいります。

### 幼稚園教育について

近年の社会環境、生活環境の変化に伴い、女性の就業者が増加し、生涯にわたる人間形成の基礎を培う就学前教育の重要性が高まっており、今後幼稚園教育の充実に努めなければなりません。

小中学校教育について  
小中学校が連携をしながら確かな学力の育成、望ましい道徳心や規範意識の醸成、体力の向上と健康の増進を目指し、日々教育実践に取り組んでおり成果をあげております。

更に、モデル地区である南郷区では「ひむか学美郷科」を新設し、「ふるさと美郷の自然・歴史・産業等」を教材として、そこで努力されている町民の皆様への思いや願いに触れ、児童生徒が自分の生き方とふるさととの将来について深く考えることができる学習を展開してまいります。これらの取組みにより、「ふるさと美郷」を愛する心を育み、確かな学力を身に付け、自分に自信と誇りがもてる、心豊かな子どもたちの養成に努めてまいります。

と強化、そして、地域コミュニケーションの核となる自治公民館の活動に対する支援体制の整備を図り、広域的且つ、地域に応じた様々なコミュニケーション活動が展開されたところです。新年度は、これらの団体や協議会の育成・支援を図るとともに、ネットワークづくりと体制の整備に努め、一体的な生涯学習の推進に取り組めます。

指定文化財を中心に、その他町内の貴重な史跡や文化財、文化活動の発掘に努めるとともに、文化財保護調査委員の方々のご意見をいただきながら、これらを更に適正に、保存・継承することに努めてまいります。また、町文化協会の組織強化や各芸術・文化サークル活動の育成を図り、合唱祭等の文化事業を積極的に支援したいと考えます。

一方、就学前教育については、幼稚園と保育所の互いの機能を併せ持つ、「認定子ども園」の制度が導入されました。本町におきましても、少子化に伴い未就学児の数が少ない状況でありますので、同制度の検討も

新年度は、教育特区を活用し南郷区をモデル地区として国語科、算数・数学科の授業時間を増やし、基礎学力のさらなる向上を目指します。また、外国語に慣れ親しみコミュニケーション能力を高めるために、小学校から新教科「英会話科」を実施します。

生涯学習の推進について  
近年、更に高まってきた町民の学習ニーズの多様化・高度化に対応するため、学習情報の提供、内容の充実した学習機会の確保、また、生涯にわたる学習できる環境の整備に努め、真の生涯学習社会の構築を図ってまいります。

また、生きがい教室や高齢者学級、その他サークル活動の充実・拡充と、各種のボランティアグループの育成と活動の支援を行い、継続して「青少年交流事業」や「子どもの体験活動推進事業」に積極的に取り組む、国際化・情報化社会にも主体的に対応できる学習環境の整備に努めます。

公立図書館について  
3区にそれぞれ図書館又は図書室が設置されており、平成19年度も利用者のニーズに応じて、蔵書の拡充に努めたところではありますが、新年度は図書館と図書室の連携による「図書循環事業」を開始し、また、高齢者向けのブックサービスの運営について研究することとしてまいります。



町立中学校

美郷町誕生後、町民すべし「私たちの町美郷町」という意識を持つことが大変重要と考え、これまで旧3村で行ってきた行事を、1つに統合して実施しています。特に、3区の児童生徒同士の一団感の醸成を図る目的から、小学生による合同水泳大会、中学生による芸能鑑賞や立志式など合同で実施して

平成19年度は、各区の生涯学習の拠点となる中央公民館をはじめ、社会教育関連施設を十分に活用した学習情報や機会の提供と、それらの充実に努めてまいりました。また、社会教育関係各種協議会の育成

更に、本町の有する素晴らしい自然や伝統文化に親しむ体験活動の推進と地域活動への参加促進に取り組む、家庭・地域の教育力を高めるため、学習機会の提供と家庭教育支援のための環境整備、また、関係団体等と連携し、子育てを支援する環境づくりに取り組みます。

健康の増進と生涯学習スポーツの推進について  
町民の健康意識の高まりに乘じ、スポーツ活動の生活化と更







健康づくりと介護予防教室の様子

目的とし、総合型地域スポーツクラブの設立を目指し、研修会や町民ニーズの調査等を行い、その核となる、第3回町民スポーツ祭を北郷区において開催し、町民の連帯感の醸成に努めてまいります。

### 【地域情報化対策について】

地域情報化対策については、平成23年(西暦2011年)7月24日までに現行のアナログテレビ放送が終了し、地上デジタル放送へと完全移行されます。い

わゆる「地上デジタル放送への対応」でございます。この時期までに何らかの対策をとっておかないとテレビが次の日から見られないということも起こりうる問題であり、その解決が喫緊の課題であります。

その他にも、インターネット環境を整備するブロードバンドゼロ地域の解消や町内での情報格差の是正など、美郷町にあった地域情報化の整備手法をこの

2年間探ってきましたが、2011年7月という期限が迫ってきていることから、新年度においては、ケーブルテレビの拡張を核とする「情報通信基盤施設整備の実設計委託事業」を行うなど、より具体的な取り組みを実施してまいります。

### 【地域交通対策について】

地域交通対策については、北郷区の代替バス路線のうち北郷区内のみ運行の路線と南郷区の乗合タクシー運行路線の2路線分の県補助金がなくなることや、患者輸送バス、バス・タクシー利用券交付事業などの交通に関する施策が行なわれている現状があります。

このような現状を分析して、無駄のない交通システムをつくるため総合交通システム検討を行うております。新年度においては、検討事項を取りまとめた「美郷町地域交通計画」の実施に向けた取り組みを行います。

### 【商工業の育成と観光の振興について】

一方、経営面における近年の状況は、相次ぐ診療報酬制度の見直しや、地方交付税の低減化と極めて厳しい現状であります。また、周知のことではあります。また、新医師臨床研修制度の施行等により、地方の医療機関は基より、中核の医療機関に対しても大学からの医師派遣が中止になるなど、医師確保の困難さは益々厳しいものがあります。

【地籍調査事業について】  
地籍調査事業の目的として、土地所有者の財産権の保護、災害復旧事業や公共事業の円滑な実施、課税の公平化等、よりよいまちづくりの基礎データとなるものであり、南郷区を中心に調査事業を進めています。本年度は、平成19年度に一筆調査した4地区(8・07km)の地籍測定、認証請求業務と並行して新たに6地区(11・21km)の一筆調査と地籍測量業務を実施することとしています。このことにより、平成20年度末には累積面積が59・95km<sup>2</sup>、34・15%の進捗率になる予定です。

### 【国保病院・診療所の事業推進と運営について】

国保病院及び診療所事業については、地方公営企業法に基づいての独立採算を目指しながら、同時に地域住民の保健、医療、福祉を担うという政策医療機関の立場もありません。今日まで一貫して、医療は基より、保健、福祉の面においても中核的な役割を担う施設として、地域包括ケアの推進に努

商工行政につきましては、町内の3つの商工会が、それぞれ地域に密着した商工会活動を行っております。3つの商工会がひとつになって取り組んでいる「商工会合同商品券事業」については、活性化につながるものとして新年度も実施します。商工会運営補助についても今までどおり実施します。

観光振興については、観光客の体験型観光へのニーズに対応するため、「美郷三大祭」をキーワードに観光ツーリズム事業に取り組んでおりますが、更に充実した美郷町らしい観光ツーリズム体制の確立に取り組みたいと思います。

第三セクター及び観光施設の維持管理については、将来の方向性を含めた論議を深めながら継続して検討してまいります。また、観光ルートづくりについては、関係自治体とともに広域的な検討を行っており、具体的な方策を検討してまいります。

### 【地域防災計画の推進と安全の確保】

本町は、中山間地域に位置し、地形が急峻であるため、災害の

発生しやすい地理的条件下にあります。

このため、地域防災計画に基づく災害に強いまちづくり対策等の諸施策を計画的に推進するとともに、本町唯一の消防機関である消防団機能の充実・強化に努め、防災力の向上を図る考えであります。

また、防災行政無線システムの統合とデジタル化の業務については、国・県の支援を受け、計画的に進めてまいります。

次に、交通安全と地域安全対策については、本町では交通事故の発生件数、死傷者とも減少傾向にあるものの、飲酒運転による検挙者が依然として後を絶たない状況にあります。このため、関係機関や団体との連携のもとに交通安全施設の点検や交通安全思想の普及啓発を図ってまいります。

また、地域安全運動等の展開を通じて、町民の防犯意識の高揚と犯罪の未然防止に努めてまいります。

### 【公平負担で充実した福祉の町づくり】

地方税制度の基本理念は、

担い手であり、自治医科大卒医師の県のローテーションも、余裕のないぎりぎりのところで地域の要請に応えている現状があります。医師の確保は医療行政上、最も大きな課題の一つでもあり、地域住民の安心と安全を担保するため、今後とも継続的に、諸々手を尽くして確保に努める所存であります。

このような中で、町内の医療施設であります「西郷病院」と「南郷診療所」、更に、経営形態は異にしますが「北郷診療所」は、現在、医療管理室を核とした連携体制で、それぞれの地区において重要な住民福祉を担っているところでありま

ております。「人工透析」は、開始後6年目を迎える現在、西郷区5名、北郷区7名、諸塚村5名の計17名の方が利用されています。今後、交通アクセスの整備等により、更に広域的なニーズも想定されることから、状況に応じて対応できる体制を順次整備する計画であります。

今後さらに、住民サービスの充実向上を図るため、医療の質の確保、効率化、機能分担等、連携と工夫により、引いては経営の改善を目指す必要があると考え

入郷において、唯一「西郷病院」で実施し



町立病院



師を始めとする全スタッフの継続的な研修機会の提供に努め、資質の向上と接遇の充実、収益性の向上を図ると共に、経営費の節減に努め、以って患者サービスの充実に努め、経営の安定を目指すものであります。特に接遇については『明朗親切、丁寧』の共通認識を図り『安心され信頼される医療環境づくり』に努めるものであります。

### 一般会計当初予算の目的別内訳

費目	金額(千円)	割合(%)
議会費	61,807	0.8
総務費	1,030,341	13.3
民生費	626,647	8.1
衛生費	403,840	5.2
農林水産業費	1,272,644	16.4
商工費	163,301	2.1
土木費	495,411	6.4
消防費	146,803	1.9
教育費	474,961	6.1
災害復旧費	445,320	5.7
公債費	1,851,484	23.9
諸支出金	760,441	9.8
予備費	25,000	0.3
合計	7,758,000	100.0

### 一般会計当初予算の性質別内訳

費目	金額(千円)	割合(%)
人件費	1,605,266	20.7
物件費	981,442	12.7
維持補修費	51,686	0.7
扶助費	190,749	2.5
補助費等	591,678	7.6
公債費	1,851,485	23.9
積立金	1,154	0.0
投資及び出資金	25,700	0.3
貸付金	223,540	2.9
繰出金	664,785	8.6
普通建設事業費	1,100,195	14.2
災害復旧事業費	445,320	5.7
予備費	25,000	0.3
合計	7,758,000	100.0

### 平成20年度当初予算

区分	金額(千円)
一般会計	7,758,000
特別会計	11,456,910
簡易水道事業特別会計	115,522
国民健康保険事業特別会計	1,100,000
老人保健事業特別会計	322,000
後期高齢者医療特別会計	187,584
農業集落排水事業特別会計	203,462
介護保険事業特別会計	854,297
国民健康保険病院事業会計(収益的収支)	505,071
国民健康保険病院事業会計(資本的収支)	87,122
国民健康保険診療所事業特別会計	323,852
特別会計合計	3,698,910
合計	11,456,910

### 平成20年度美郷町一般会計予算歳入状況

款	金額(千円)	割合(%)
町税	607,850	7.8
地方譲与税	148,200	1.9
利子割交付金	1,250	0.0
配当割交付金	1,100	0.0
株式等譲渡所得割交付金	178	0.0
地方消費税交付金	54,000	0.7
自動車取得税交付金	32,300	0.4
地方特例交付金	3,303	0.0
地方交付税	3,941,000	50.8
交通安全対策特別交付金	500	0.0
分担金及び負担金	18,446	0.2
使用料及び手数料	68,761	0.9
国庫支出金	323,740	4.2
県支出金	1,059,877	13.7
財産収入	31,100	0.4
寄附金	9,601	0.1
繰入金	456,589	5.9
繰越金	170,000	2.2
諸収入	312,805	4.0
町債	517,400	6.7
合計	7,758,000	100.0

### むすび

以上申し述べましたことを基本に編成した平成20年度予算は、一般会計では総額が7億5千8百万円となり、平成19年度と比較しますと、予算総額で1億千3百万円、1.5%の増額となりました。

その内容は、歳入は、税源移譲が実施された町税を前年度の実績を踏まえ2千6百86万円増の6億7百85万円、予算総額の7.8%を見込みました。国庫及び県支出金は、過年度発生災害復旧費や市町村合併支援交付金を予定したことにより合計で13億8千3百61万7千円、対前年比2億3千3百88万千円、20.1%の増となりました。

地方交付税は、地方財政計画で平成15年度以来の増が見込まれますが(対前年度比2千億円、1.3%の増額)、本町においては、公債費等の基準財政需要額や合併市町村への特別交付税の減少分が予定されることから普通交付税35億円、特別交付税4億4千百万円の計39億4千百万円、対前年度比2億9百万円、5.0%の減という厳しく当初予算額を見

込んだところです。

町債では町公債費負担適正化計画の範囲内で、臨時財政対策債や負担軽減債を目的とする公的資金借換債を含む、町債5億千7百40万円の発行を予定し、それぞれ町道、林道等の社会資本整備の充当財源として見込んだところです。

次に、歳出では、義務的経費のうち人件費が0.4%の微減、医療福祉のパロメーターである扶助費は6.3%の増となりました。公債費は町独自に策定した公債費負担適正化計画の確実な実行により対前年度比9千百万円、4.7%の減となり、着実に適正化が図られているところであり、普通建設事業費は、公共投資縮減等の影響もあり、当初予算では11.5%の減となります。

そのほか、一般的な行政経費につきましても現下の厳しい地方財政状況を踏まえ、行政改革大綱の集中改革プランに則り各種見直しを行っています。物件費では投資的事業費の縮減による組替もあり21.1%の増になりました。補助費等は、政策的奨励的経費を従来どおり積極的に計上すると共に、町単独事業では当初において事業内容の

調整が必要なものについては、調整が決定するまでの間、必要経費を計上したところです。一方、国費、県費を伴う補助事業費等については、国、県の事業採択後、速やかに予算措置を行うことで予定したところです。

次に特別会計では、簡易水道事業特別会計が1億千5百52万2千円、国民健康保険事業特別会計が11億円、本年度間に後期高齢者医療特別会計への制度変更となる老人保健事業特別会計が3億2千2百万円、後期高齢者医療特別会計が1億8千7百58万4千円、農業集落排水事業特別会計が2億3百46万2千円、介護保険事業特別会計が8億5千4百29万7千円、更に国民健康保険診療所事業特別会計が3億2千3百85万2千円となりました。

また、国民健康保険病院事業会計の収益的収入、支出につきましては、5億5百7万千円を予定しており、中でも医療収益は4億3千3百18万6千円を見込んでいます。このことから9つの特別会計の予算総額は36億9千8百91万円となり、一般会計と合わせ、平成20年度の予算総額は114億5千6百

### 教育長が再任されました



平成20年2月21日、教育委員会委員として長尾勇さん(南郷区渡川)が再任され、町長より辞令交付を受けました。また、同日には教育委員会議で教育長に選任され4年間の任期で教育長に就任いたしました。今後のさらなる活躍を期待いたします。

### 高齢者生活支援リフレッシュ事業(温泉券交付事業)の廃止について

高齢者生活支援リフレッシュ事業(温泉券交付事業)につきましては、介護認定を受けていない町内在住の70歳以上の方々に対して、健康増進を図ることを目的として実施してきたこととなりますが、平成19年3月31日をもって廃止することとなりました。

温泉券関連事業につきましては、6月より町民を対象とした新規事業を予定しておりますので、その内容については後日改めてお知らせいたします。(福祉保健課)



# みんもの文化財

美郷町文化財保護調査委員会では、今月の町報から、国・県、そして町指定の文化財(90件)を紹介することといたしました。私たちの先人が築いてこられた、町内の素晴らしい文化財を知っていただき、また、その保存・継承にご理解とご協力をお願いするものです。



国指定文化財 (重要文化財 2000.12.4) 「神門神社本殿」

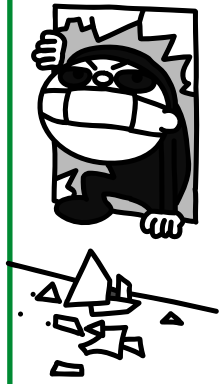
寛文元年(1661)に建立された神門神社本殿は、その優れた建築技法により、極めて優れたものとされ、また、現存する県内の築年代の確かなもの中、第3番目に古いものとされています。

## 「地域の安全は地域で守ろう」

春の行楽シーズンを迎え、空き巣、バイク・自転車等の乗物盗、新入学児童をはじめ児童生徒を対象とした声かけ事案等の事件・事故等が増加することが予想されます。これらの犯罪を未然に防止するため、関係機関が一体となり、積極的な見守り活動、パトロール、広報等の諸活動を推進し、地域の日常生活の安全安心を確保することを目的に、4月1日(火)から10日(木)までの10日間「春の地域安全運動」を実施します。

### 春の地域安全運動の重点

- 1 子どもの安全を守る活動
- 2 空き巣などの侵入盗の防止
- 3 二重ロックと防犯登録の推進による自転車の盗難防止
- 4 「振り込め詐欺」など身近な詐欺事件の被害防止



## 日向東臼杵圏域情報

おうぎやま

# 2008年 扇山山開き



九州中央山地国定公園のシャクナゲの群生地として知られる扇山(1661m)は、昭和54年の宮崎国体山岳競技の会場として使用されて以来、白山を結ぶ縦走コースとして、県内外の登山愛好者に親しまれています。山開きの頃に見頃を迎えるシャクナゲの林を抜けると山頂です。頂上からは久住山、由布岳、祖母ヶ傾連山、大崩山、阿蘇山など九州の高山はほとんど眺望することができます。新緑とシャクナゲの花が織りなす癒しの風景を楽しみながら、登山をしてみませんか。

- と き：平成20年5月11日(日曜日)
- と ころ：扇山松木側登山道入り口
- 内 容：受付 午前9時30分
- 登山開始：午前10時30分
- 山頂祭：正午(記念品贈呈・宝探し)
- 解 散：午後3時

【問い合わせ先】 椎葉村観光協会  
☎0982・67・3139

## 春の交通安全運動が全国一斉に実施されます。

「交通安全 ゆずる優しさ 待つゆとり」をスローガンに、4月6日(日)から15日(火)までの10日間、春の全国交通安全運動が実施されます。

春の全国交通安全運動では、新入学児童等に対する交通ルールの理解と交通マナーの習慣付けが重要課題となるとともに、高齢者の交通事故等に対する確に対処するため、「子どもと高齢者の交通事故防止」を運動の基本としています。

また、運動期間中の4月10日(木)を「交通事故死ゼロを目指す日」とし、交通安全に対する意識の向上を図り、町民一人ひとりが交通ルールを守り、交通ルールを実践することにより、交通事故の発生をなくし、春の全国交通安全運動と連携した取り組みを行います。

さらに、春の全国交通安全運動では、次の【重点項目】を設定しています。

- 1 全ての座席でのシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 2 自転車の安全利用の推進
- 3 飲酒運転の根絶

平成19年も子どもと高齢者の交通事故等が多発しています。運転者の皆さんは、「子どもや高齢者にやさしい運転」「子どもや高齢者を思いやる運転」を心がけましょう。

## 警察官採用試験説明会開催

- 1 日時・場所  
平成20年5月3日(土)  
午前11時から約1時間程度  
日向警察署講堂

- 2 説明会内容  
警察の組織概要及び業務内容  
警察学校での授業内容及び寮生活  
採用試験内容  
個別の質疑応答、相談

- 3 参加対象者  
警察官A受験資格者(男・女)(大卒程度)  
平成21年3月末日までに大学(短大を除く)を卒業若しくは卒業見込みの方で、昭和54年4月2日以降に生まれた方

警察官B受験資格者(男・女)(短大・高卒程度)  
昭和56年4月2日から平成3年4月1日までに生まれた方  
(警察官Aの受験資格を有する方を除く)

高校・大学に在学中の方  
試験資格の有無に限らず、在学中の方は参加できます。  
上記の保護者の方  
保護者の方の参加も自由です。

【問い合わせ先】 日向警察署警務課  
☎0982・53・0110

## 4月は『未成年者飲酒防止強調月間』です。

わが国では、「未成年者飲酒禁止法」により、20歳未満の者の飲酒は禁止されています。成長過程にある未成年者の飲酒は、単に、法律により禁止されているだけではなく、次のような大変なリスクを伴うと言われています。

### 未成年者がお酒を飲むと・・・

- ・脳の機能を低下させる恐れがあります。
- ・肝臓などの臓器に障害をおこしやすくなります。
- ・性ホルモンに影響が出る恐れがあります。
- ・アルコール依存症になりやすくなります。



しかし、近年では、子供たちの生活にお酒が入ってきています。未成年者の飲酒を防止するために、家庭や地域において、「未成年者が、なぜお酒を飲んではいけないのか。」をしっかりと説明し、飲酒をさせないよう注意していきましょう。

また、私たち大人も、20歳以上だからといって、いくらでも飲んでもいいというものでもありません。お酒に強い人、弱い人、色々います。お酒の強要をすることはいけませんし、毎日大量の飲酒をしては体を壊してしまいます。1週間に1~2日は休肝日を設け、楽しくお酒と付き合いましょう。



### 守っていますか？ 宮崎県の最低賃金

宮崎県の最低賃金が昨年改定されています。又、一部の特定の業種については、個別に定められていますのでご注意ください。

業種	改正後の時間額	発効日
宮崎県最低賃金	619円	H19.10.27
肉製品、乳製品、製造業	647円	H19.12.29
電気機械器具等製造業	677円	H19.12.29
各種商品小売業	660円	H19.12.26
自動車（新車）小売業	689円	H19.12.15

宮崎県最低賃金は、業種等に関係なく、また、パートタイマー、アルバイトを含む全ての労働者に適用されます。

### 国民年金こんな時にこんな手続きを！

国民年金は、日本国内に住所がある20歳以上60歳未満の方すべてが加入する制度です。

届出を忘れると、将来受け取れる年金額が少なくなったり、受け取られなくなったりする場合があります。次のようなときには、役場へ自分で届出をすることが必要です。届出は忘れずに行いましょう。

- 20歳になったとき
- 農業、自営業、学生、勤めていても厚生年金保険に加入していない方が、20歳になったとき。
- 会社を退職したとき
- 60歳になる前に、会社などを退職したとき、または、勤めを辞めて国民年金被保険者の配偶者となったとき。
- 収入が増え、被扶養配偶者でなくなつたとき
- 収入が増え、被扶養配偶者でなくなつたとき
- 収入が130万円以上となったとき。

### 国民年金保険料の免除制度について

国民年金では、納付が困難な方に対して保険料の免除制度があります。免除の種類は、法定免除と、申請免除の2種類があります。

申請免除には全額、4分の3、半額、4分の1免除があります。

また、学生についてはその期間中、保険料の納付が猶予される「学生納付特例制度」があります。学生でない20歳代の方には、保険料納付が猶予される「若年者納付猶予制度」があります。

配偶者が退職したとき  
配偶者が退職し、会社員や公務員などの被扶養配偶者でなくなつたとき。

なお、会社や役所、学校などに勤めている方とその被扶養配偶者の方については、勤務先で手続きが行われますので、自分で行う必要はありません。

法定免除  
生活扶助を受けている人や障害年金を受けている人が対象となります。

申請免除  
全額、4分の3、半額、4分の1免除があります。

- 学生は申請できません。
- 申請者本人のほか、配偶者、世帯主の方のいずれも前年度所得が基準を超えないこと。
- 失業や震災・風水害・火災による特例認定があります。
- 老齢基礎年金の額を算定する際に免除された期間について減額となります。

継続申請している方で全額免除（特例認定を除く）になっている方以外は、毎

年申請が必要です。

- 学生納付特例制度  
在学する20歳以上の学生等で本人の前年の所得が一定額以下の方です。
- 毎年度申請が必要です。
- 被保険者の所得だけを審査します。
- 受給資格期間にはなりませんが、年金額には反映されません。
- 若年者納付猶予制度  
他の年齢層に比べて所得の少ない若年層（20歳代）の方が対象となります。
- 世帯主の所得を除き、本人と配偶者の所得のみで判定します。
- 若年者納付猶予を受けた期間は、保険料を全額納付したときに比べ、受け取る年金額が少なくなります。

以上の手続きについて、詳しくは社会保険事務所におたずねください。

延岡社会保険事務所  
☎0982・21・5424

### 「ねんきん特別便」をお送りします。

#### あなたの年金記録の確認を

基礎ねんきん番号に結びついていない約500万件の記録について、平成19年11月からコンピュータによる名寄せ作業を開始し、その結果、皆様の基礎年金番号の記録と結びつく可能性のある記録が出てきた方に、12月から平成20年3月までの間に、「ねんきん特別便」を順次お送りいたしております。

それ以外のすべての皆様の方にも、順次ねんきん特別便をお送りいたしますので、お待ち下さい。

年金受給者の方々は、平成20年4月から5月までの間に、  
現役加入者の方々は、6月から10月までの間に、  
「ねんきん特別便」によるご本人様のご確認及びお手続きを経て、はじめて記録が結びつくことができます。

お手数をおかけいたしますが、お手元に届きましたら、「ねんきん特別便」により、「自身の年金記録に記載もれや誤りがないかをご確認の上、必ずお手続きください」とお願いたします。

以上の手続きについて、詳しくは社会保険事務所におたずねください。

【問い合わせ先】 延岡社会保険事務所  
☎0982・21・5424

### 平成19年度健康標語決定！

2月の生活習慣病予防週間に伴い健康標語の募集をしたところ、今年は昨年よりも多い330名（西郷89名、南郷163名、北郷78名）の方から作品が寄せられました。審査の結果、次の方々の健康標語が選ばれました。応募してくださった皆さん、ありがとうございました。

【最優秀賞】  
『3食に 野菜を加える ひと手間を』  
南郷区 南郷中1年 久米田 美咲さん

【優秀賞】  
『ガラガラペ ばいきんさんは せむじなら』  
西郷区 小八重小2年 青山 美波さん  
『朝ごはん 脳を動かす エネルギー』  
北郷区 北郷小6年 黒木 玲映菜さん

【入賞】  
『笑いあり 明るい食卓 おいしいごはん』  
南郷区 南郷中3年 藤本 李奈さん  
『食べて運動 笑ってけんこう 元気な体』  
南郷区 神門小3年 堀内 慎吾さん  
『健康な 心と体は 私の宝物』  
北郷区 北郷中3年 石田 すみれさん

### 4月保健事業予定表

日	内容
南郷区	2日(水) 保健センター開放日(10時～)
南郷区	10日(木) 母子相談 13時30分～ 南郷保健センター)
南郷区	16日(水) 保健センター開放日(10時～)
西郷区	11日(金) 乳児健診 12時45分～ 西郷健康管理センター)
西郷区	16日(水) 麻疹・風しん混合予防接種 14時～ 西郷健康管理センター)
西郷区	24日(木) BCG予防接種 14時～ 西郷健康管理センター)
北郷区	3日(木) うりぼうの広場 10時～12時 北郷保健センター)
北郷区	17日(木) ぷちMAMAさーくる(10時～ 北郷保健センター)



水清谷梅まつり開催

2月17日(日)水清谷地区のふるさと再生委員会の主催で「梅まつり」が開催されました。今年で3回目を数えるこの催しは、水清谷ふるさとオートキャンプ場発着で標高約600mのかいごん塔梅園折返しのコースをウォークラリー方式で行われ、途中でクイズを解いたり、俳句を読んだり、参加者は一足早い春の訪れを満喫していました。参加者には、折返し地点では焼肉が、ゴールの後は大鍋の豚汁が振舞われました。昼食後は、お楽しみ抽選会があり地元特産品の梅加工品や野菜などがあたる大喜びの参加者で賑わいました。



本と遊ぼう!

全国訪問キャラバンカーがやってきた!!

2月21日、渡川小学校に「本と遊ぼう 全国訪問お話し隊」のキャラバンカーが来ました。キャラバンカーが、ミニ図書館に変身し、読書をさせてもらったり、隊長さんから紙芝居をしてもらったりしました。6年の大平空翔(おおひらつばさ)君は「キャラバンカーの中は広くてきれいに本が飾られていて、作家のサインも壁に書いてあったので、本を読んでみたいなあという気持ちになりました。」と感想を述べていました。



地球温暖化防止

「緑のダム造成事業」の記念植樹開催

2/16(土)

神門山草に於いて、宮崎県企業局主催の植樹祭が、地元小学生ら約150人が参加して行われ、山桜、イチヨウ、モミジの苗木600本を植栽しました。植栽は、県営渡川ダム上流の山林で行われました。600本の苗木を丁寧に植栽し、植栽後は地元婦人会が作ったしじみ汁が振舞われました。この事業は県営ダム発電所のある上流域の山林を20年間で約千ヘクタール買収予定。60年かけて水源涵養能力の高い森林を整備する計画です。温暖化問題を地球規模で考えると、気の遠くなるような話ですが、このような地道な活動が大切であることを再認識させられる1日となりました。



生涯学習講座 韓国語講座修了

6月から開講し、月2回行われた韓国語講座が、2月に修了を迎えました。今年度は、22名が修了することが出来ました。国際交流員の林美愛(イムミエ)さんが、ユニークな講義をして皆さんを楽しませてくれました。韓国料理実習では、チヂミとスジョンカ作り皆さんで挑戦しました。

来年度も6月に開講しますので、西郷区・北郷区の皆さんも楽しく韓国語を学びませんか。



「ヘルスサポーター21事業」(主催:食生活改善推進協議会)

3月6日、南郷保健センターにて、高校生になっても健康的な生活が送れるようにという目的から「ヘルスサポーター21事業」を実施しました。当日は、食育について話を聞き、調理実習でエスニックチキンなどを皆で作って食べました。その後、村口裕美先生(桜助産院助産師)より性についての講話があり、「私たちは、生まれてくるときは、お母さんだけでなく、赤ちゃんも痛いし苦しいんですよ。生か死かのハードルを乗り越えて生まれてきたんだから、何かにつまずいた時は、そのことを思い出してください。」とメッセージを下さいました。今日のことを心に留めて自分の目標に向かって頑張ってください。



第11回ロードレースin 百済の里開催



遠くは青森県・茨城県・埼玉県、上は79歳までのランナー672名が参加、暖かな日差しの中、百済路で健脚を競いました。レースは2K・3K・5K・ハーフマラソンでの10部門、年齢別36種目に分かれて行われ、記録を狙うランナー、マイペースで楽しみながら走るランナーとそれぞれ熱のこもった走りを見せてくれました。



レース終了後は手作りのおにぎりとおどろの昼食、そして南郷名物「とり汁」の振る舞いにランナーはもとより、応援の皆さんもご満悦のようでした。さらに、閉会式終了後の特別抽選会、韓国往復航空券・沖縄NAHAマラソン・旅行券。

南郷温泉半年フリーパス券・折りたたみ自転車などがあたるこの抽選に「喜一憂、最後まで楽しんで南郷をあとにしたランナーの皆さんでした。ロードレース開催にあたっては、給水・沿道の旗立て等で協力頂いた各自治公民館の皆さんを始め、たくさんボランティア・競技役員の方々に支えられて無事終了することができました。また、沿道にて声援を送っていたいただいた町民の皆様にも心より感謝申し上げます。



部門別成績上位者

小学生低学年男子2Km(総合)

着順	タイム	氏名	学年	住所
1	新記録 0:07:48	下田 航	3	日向市
7	0:08:31	森川 達博	3	西郷区
13	0:09:10	中嶋 響士	2	南郷区

小学生高学年男子2Km(総合)

着順	タイム	氏名	学年	住所
1	新記録 0:07:11	林田 尚樹	6	日向市
8	0:07:46	菊池 豊	6	南郷区
16	0:08:03	新坂 祐人	5	南郷区

中学生男子3Km(総合)

着順	タイム	氏名	学年	住所
1	0:09:48	沼口 雅彦	3	宮崎市
2	0:10:03	黒木 大輔	3	西郷区
3	0:10:41	瓶田 恭司	1	南郷区

一般男子5Km(総合)

着順	タイム	氏名	住所
1	0:16:57	黒木 八郎	延岡市
14	0:20:41	古川 未弘	南郷区
18	0:21:01	新坂 靖典	南郷区

一般男子ハーフマラソン(総合)

着順	タイム	氏名	住所
1	1:17:18	黒木 良太	宮崎市
12	1:31:16	黒木 豪志	南郷区
19	1:35:56	日高 淳	北郷区

小学生低学年女子2Km(総合)

着順	タイム	氏名	学年	住所
1	新記録 0:07:54	谷川 美侑	3	延岡市
6	0:09:06	新坂なつき	3	南郷区
12	0:09:25	藤本 海月	2	西郷区

小学生高学年女子2Km(総合)

着順	タイム	氏名	学年	住所
1	0:07:39	石原真裕子	4	延岡市
21	0:08:49	松下 沙希	6	南郷区
31	0:09:13	黒田 かな	4	南郷区

中学生女子3Km(総合)

着順	タイム	氏名	学年	住所
1	0:13:24	黒木 彩	1	日向市
3	0:15:15	木原ひまわり	1	南郷区
4	0:15:33	二宮ゆかり	2	南郷区

一般女子5Km(総合)

着順	タイム	氏名	住所
1	0:20:13	小竹由利子	南郷区
2	0:20:59	長友 紀子	南郷区
4	0:22:16	菊池 彩	南郷区

一般女子ハーフマラソン(総合)

着順	タイム	氏名	住所
1	1:31:02	瀬之口かな	門川町
8	1:56:14	長友 香	南郷区
13	2:13:42	甲斐 博子	南郷区



どき・土器探検隊 移動水族館教室で 海の生き物と触れ合う

3月1日(土)ニューホープセンターにおいて福岡市のマリンワールド海の中道による移動水族館教室が開催されました。

どき・土器探検隊の隊員たちも、会場内に設置された水槽で、日頃から触れる事の少ないサメやヒトデなどを触っては、歓声を上げていました。

また、マリンワールドの高田水族館長からは、海の生き物のひみつや水族館での魚の様子など貴重な話を聞く事ができ、海の生き物について色々な事を学習しました。



生き物プール

イルカのはく製

美郷の「御田祭の里 体験物語 2008春の章」開催

3月8日から9日にかけて、グリーンツーリズム事業・体験ツアー「御田祭の里体験物語 春の章」が開催されました。

この事業は、本町に宿泊滞在しながら、作業体験などを通じて、中山間地域の大切さや魅力を再発見し、都市住民との交流を深めることを目的に行われたもので、宮崎市などから32人が参加しました。

初日の8日は、きんかん収穫やそば打ち、椎茸コマ打ちを体験しました。

また、おせりの滝の散策や民話伝承館で民話にもふれていただきました。

2日目は、「美郷町ふれあい植樹祭」に参加し町民と一緒に広葉樹の植樹を行いました。

参加者は、2日間にわたり、それぞれに美郷の春を楽しめました。



しいたけコマ打ち



きんかん収穫

寒さを吹き飛ばす熱戦！

第62回西郷バレーボール大会

西郷バレーボール協会主催第62回西郷バレーボール大会が、2月25日から29日の間、西郷農村環境改善センターで開催されました。

寒い時期での大会でしたが、男子の部に7チーム、女子の部に6チーム参加があり、熱戦が繰り広げられました。



男子の部 バレーボーイズ



女子の部 MISATO

この大会で本年度のすべての大会が終了しました。本年度も愛好者の方と楽しく競技を行い、交流を深めることができました。

新しく「坂本区」誕生



初代松浦坂本区長とがっちり手を組む町長と両区長

西郷区では、平成20年2月24日に小原集會センターに立石区(37戸)と小原区(39戸)の住民が集まり、合同の総会が開催され、地域自らの力で新しく合併再編され、「坂本区(76戸)」が誕生しました。

立石区と小原区は18年度から区民にアンケートを実施し、65歳以上が43.1%を占め、高齢・過疎化が進み、区役員の選出もままならない状態で、半数以上が、「合併が必要」と言う結果が出ていました。また、新しい区の名前は、旧坂本小学校を共通の学び舎としていたこともあり、「坂本区」とする回答が多くありました。

合同総会では、両区から選出された21名の役員でこれまでの検討、協議してきたことの経緯が説明され、それぞれの区の臨時総会を経て、新しい坂本区の公民館規約や活動計画、予算書(案)について報告されました。

続いて、役員の出選が協議され、選考委員会が推薦した松浦松二さん(小原区)が満場一致で初代区長に選ばれました。

総会後には、林田町長・織田副町長・長尾教育長の立会いのもと、林田町長と黒木健一立石区長と笹井義文小原区長が、合併調印書に署名し、両区の住民に披露されました。

20年度からは自治公民館活動も一体化した「坂本区」として、様々な行事が活発に取り組まれ、新しい歴史を刻んで行く事になります。

西郷文化協会「おさらい会」

春の芸術・文化スポーツイベントとして、3月9日(日)に第14回さわやかニューススポーツ大会・西郷文化協会「おさらい会」が開催されました。

午前中に開催されたさわやかニューススポーツ大会では、グラウンドゴルフの部に12チーム60名、インディアカの部に4チーム20名の参加があり、それぞれの競技において大変盛り上がりのある大会となりました。



さわやかニューススポーツ グラウンドゴルフ



おさらい会 葉桜権現太鼓

午後に行われた西郷文化協会「おさらい会」では、今年一年間の活動を締めくくるとして、出演者全員、熱のこもった発表が披露され、観客から沢山の拍手が送られていました。

今後とも本町の文化・芸術・スポーツの振興に「尽力賜りますと共に益々の活躍を期待いたします。」

祝！沖のソネ集落 営農組合設立

農家も集落もみんなが良くなる農業を進めるために、沖のソネ集落営農組合の設立総会が3月6日(木)に南部農業改良普及センター所長をはじめ多数の御来賓に御臨席賜り開催されました。

設立総会では、富井裕瑞組合長が「皆で、どげんかしゅや！沖のソネ集落営農」をスローガンに和沖のソネの農業振興を図りたい」と挨拶し、その後組合規約、事業計画、予算等が提案され、原案どおり承認し、設立が成立しました。



西郷区においては、中区のなかよく営農組合に次いで2地区目の営農組合の誕生となり、当組合においては、水稲の作業受委託を中心に取り組み、将来的には堆肥の散布・機械の共同利用を予定しております。

今後、地域の担い手不足・高齢化による離農者の増加等が見込まれる中、当営農組合への需要が益々高まることが予想され、活躍が期待されます。

葉桜顕彰活動20周年

郷土が生んだ誇るべき歌人、小野葉桜のその生涯と作品を、広く永く顕彰し、地域文化発展の推進力にしようとして昭和63年2月に「葉桜顕彰会」が設立され、本年度20周年を迎えることとなりました。

そこで、町報今月号より、葉桜の短歌をご紹介します。

「悲しき矛盾から 蕨野 育 赤い火が二人の間に燃えて居り 舟間の磯の昼のさびしさ」

(解説) 危篤の報に帰郷した若山牧水は、父立蔵の死のち、長男ゆえの務めと郷里坪谷に留まるよふ家族親族から責められていた。大正元年12月13日、逃げるように美々津の葉桜を訪う。数日後に父の35日法要をひかえて旧交をあたためる。

葉桜もまた、事故による病が癒えて美々津役場に職を得たとはいえず思うように家族を養えない。己の不甲斐なさに孤独の心を深めていた。揚歌の前後に次の3首が置かれている。

流木を寄せ舟間の磯に火を焚きて

あわびの貝をむさぼり食ふも 肉厚き鮑の貝を食ひをはり

あそび疲れ磯に火を焚き蜜柑など 気味わるくなりて友と笑へり

あそび疲れ磯に火を焚き蜜柑など 気味わるくなりて友と笑へり 浜に引きあげられた舟と舟との間に、冬の寒風をさけて燃やす焚火をはさんで、腰をすえ、言葉少なく海を眺める葉桜と牧水がいる。



## 高齢者学級閉級式

2月26日、北郷総合林業センターで平成19年第5回北郷区高齢者学級の閉級式が行われました。

高齢者学級では日々、人生を豊かに生きるために様々なことに挑戦しており、第5回目となる今回、平成19年度最後の開催となりました。

式は午前9時から始まり、式の中では学級生3名が「高齢者学級に参加して」と題してこれまでの活動を振り返り感想を述べました。

また、10時からは佐土原町在住の赤木悦子氏の講演が行われ、全盲ながらも活発に、歌や和太鼓を通じてボランティア活動などを行っている赤木氏は、「出会いやふれあいによってこのような楽しい時間が過ごせる。このような人とのつながりを大切にしたい。」と元



気いっぱい話をされました。

最後に、皆勤の学級生に皆勤賞が授与され、学級生は来年も意欲的に参加したいと話していました。

## 一人暮らしのお年寄りに 社交の場



2月18日北郷林業総合センターで一人暮らし中央会食会が行われました。

これは美郷町社会福祉協議会北郷事業所(林田敦会長)が主催して年に2回行っているもので、当日は北郷区内に在住する75歳以上のお年寄り約40名が集まりました。

会場では日赤奉仕団や農協女性部の方が作られたサラダやチキン南蛮、おにぎりなど7品目がテーブルいっぱいに並べられ、集まった参加者はバイキング形式で料理をとりわけ12時より食事を始めました。

参加者は久しぶりの友人との再会で話に花が咲き「この会食に毎回参加していて、楽しみです。」と話していました。

昼食をとり終わった後は細宇納間婦人会の方々による人形劇が行われ、コミカルな内容と流暢な宇納間弁に、お年寄りも笑い、喜んでいました。

また、会場ではしし汁やぜんざいなどが振る舞われ、観戦で冷えた体を温めながら、力士に声援を送っていました。

## 長野薬師相撲大会開催



真剣な取り組み相撲に力が入ります

2月17日、長野薬師相撲大会(主催 長谷野公民館長友敏明館長)が行われました。  
当日は冷たい風が吹く一日でしたが、町内外から約300名の方が参拝と相撲観戦に來られました。  
午後からは昨年生まれた子どもたち6名が力士や父親に抱えられ、健康を願う土俵入りをし、その姿を保護者



健やかな成長を願う土俵入り

らはうれしそうに撮影していました。  
その後は、一般力士の取組みが行われ、中学生力士や地元力士たちがぶつかり合いながら熱戦を繰り広げました。  
また、会場ではしし汁やぜんざいなどが振る舞われ、観戦で冷えた体を温めながら、力士に声援を送っていました。

## ヤマメ釣り大会参加者募集!

今年も、ヤマメ釣り大会の季節がやってきました。

初心者でも楽しく釣れる大会です。

北郷の自然と一体になって癒しの時間を過ごしませんか。



日 時:平成20年4月27日(日)

場 所:五十鈴川

受付場所:美郷町北郷区小原 小原集会施設

受付開始時間:午前6時~

参加費:高校生以上 1,000円  
小中学生 500円  
未就学児 無料

主催:北郷商工会青年部

問合せ先:北郷商工会

☎0982-62-5895

## 食への関心を高めて

3月11日、北郷中学校で卒業予定の3年生15名を対象に、ヘルスサポーター21事業が行われました。

これは自分らしい生活を実現していくために欠かせない健康と毎日の食事について考え、実践してもらうことを目的に、北郷区食生活改善推進協議会が北郷中学校卒業生を対象に毎年行っているものです。

当日は推進委員3名がアドバイザーとなり、適正体重の維持や健康的な食事について1時間ほど講演を行った後、実際にバランスの取れた食事づくりに取り組みました。

調理では「冷汁」や「手羽元の酢煮」「千切り大根の焼きそば風」「小松菜の和え物」「芋ショコラ」の5品を2時間かけて作り

ました。  
調理実習を行った生徒は「今日つくったものをぜひ家でもチャレンジしてみたい。」と話していました。



## 結婚50周年 金婚式



2月15日、北郷保健センターで平成19年度金婚式が執り行われました。

美郷町社会福祉協議会北郷事業所(林田 敦会長)が主催するこの金婚式、結婚生活を営む北郷区の夫婦で昭和32年4月1日から昭和33年3月31日までに結婚された11組が対象となり、当日は6組の夫婦が出席されました。

協議会の会長でもある林田町長からは「いろいろなお苦勞があったかと思いますが、これから夫婦仲良くお互いに思いやりもって楽しく過ごしてください。」とあいさつがありました。

記念品贈呈ではお2人の写真入りの額と北郷区特産のスイートピーが会長より手渡され、金婚者は少し照れくさそうにしながらも、うれしそうに受け取っていました。



# てげあちいー宮崎人に、岩田利右衛門一座が決定。

「お〜いニッポン私の好きな宮崎県(NHK)」が2月10日に全国放送されました。その番組の「てげあちいー宮崎人!大集合」中で、てげあちいー宮崎人を決めるコンテストがありました。そこで、みごと岩田利右衛門一座が持ち前の熱いパフォーマンスで優勝しました。事前にNHKから選考された県内の6団体(2個人含む)が熱い芸を披露しましたが、岩田利右衛門一座お家芸の「一円玉の旅がらす(ガンガンお踊り)」がとび出すと会場は笑いの渦につつまれ、結果はダントツの優勝!美郷町の「岩田利右衛門一座」を宮崎県はもとより全国に情報発信しました。

ちなみに審査員は、歌手の森口博子さん、米良美一さん、東国原知事でした。



# 地域トピックス

# さいごう完熟きんかん販売促進PR大盛況

福岡市天神の岩田屋横「ふれあいHIROBA」を会場に3月5日(水)~7日(金)の4日間、生産者とともにさいごう完熟きんかんの販売促進活動を行いました。

東国原知事のトップセールスの影響か試食したお客さんから「甘い」という声が多く聞かれ、大盛況のPRとなりました。



# 北郷産スイートピー みやざき花の祭典で活躍

2月17日、「みやざきの花」普及促進協議会主催の「みやざき花の祭典2008」花き展示品評会で、北郷区中原地区の柳田フサミさんが「宮崎県知事賞」を、小黒木地区の早田厚子さんが「宮崎県JA花き協議会会長賞」を受賞されました。

県知事賞を受賞した柳田さんは、平成2年からスイートピーを10坪ほど栽培しており、今回、品種「彩姫」を出品。茎が丈夫で太く、花のつきもよかつたことから受賞にいたしました。

柳田さんは「今後も継続してスイートピーを栽培し、良質な生産に取り組みたい。」と意欲を現していました。



「門出」の花言葉を持つスイートピーは、卒業式などの行事が多い3月末まで関東方面に向けて出荷が続けられるということです。

# 水道使用料の納付をお忘れでは!

簡易水道は、利用されている皆様からお支払いいただく使用料により、施設の適正な維持管理がされております。

水道使用料が未納となっております。他の利用者と比較して不公平になるばかりでなく、水道事業の安定的な運営ができなくなるおそれがあります。

そこで、通算して4か月以上滞納がある方を対象に、水道の給水停止措置を含め、滞納解消を強力に推し進めます。

水道使用料の納付をお忘れの方は、早めに納付して下さい。

また、個別の事情がある場合には各支所福祉保健課町民生活担当までご相談いただくようお願いいたします。

南郷支所 福祉保健課

☎0982-59-1602

西郷支所 福祉保健課

☎0982-66-3610

北郷支所 福祉保健課

☎0982-62-9202

# 美郷町の人口

		前月	今月	増減
人口	男	3,395	3,392	△3
	女	3,632	3,628	△4
	計	7,027	7,020	△7
世帯数		2,878	2,874	△4

平成20年2月29日現在 (住民基本台帳による)

